



SQUADRA CORSE

2017 年 7 月 7 日

ブランパン・ランボルギーニ・スーパートロフェオ・ヨーロッパ・シリーズ第 5、6 戦レビュー

## 予選の速さを不運なレース展開で生かせず、連続表彰台を逃す。

### ■大会概要

開催地：フランス・ポールリカルサーキット（1周：5.842km）

開催日：2017 年 6 月 23 日（土）～ 6 月 24 日（日）

### ■大会結果

・6 号車：ラファエル・アバーテ／根本悠生

6 月 23 日（天気：晴／路面：ドライ）

予選：第 5 戦 3 位、第 6 戦ポールポジション

6 月 24 日（天気：晴／路面：ドライ）

第 5 戦決勝（規定周回数：23 周）：6 位

6 月 24 日（天気：晴／路面：ドライ）

第 6 戦決勝（規定周回数：23 周）：4 位

### ■大会レビュー

2017 シーズンのランボルギーニ・スーパー・トロフェオ・ヨーロッパ・シリーズで快進撃を遂げている VSR（ビンチェンツォ・ソスピリ・レーシング）の根本悠生は、パートナードライバーのラファエル・アバーテ選手とともに、6 月 23～24 日にフランス・ポールリカルサーキットにて開催されたシリーズ第 5,6 戦に挑みました。

#### 【練習走行】

根本悠生は今回のポールリカルは初めて走行するサーキット。大小様々で低速から高速まで使うレイアウトは日本国内にはない独特なリズムが要求されます。根本悠生はいつも以上にシミュレーター・トレーニングをしっかりと積み重ねてサーキット入りしました。

前回ラウンドのシルバーストンのデータを基にしたセットアップが非常に良く、練習走行の走り始めからしっかりとコースへの順応走行に取り組みました。しかし、気温と路面温度が高く、リヤタイヤのオーバー

ヒートによるグリップ低下に悩まされました。これまでもタイヤマネージメントに気を使っていたものの、より高いレベルでのマネージメントが要求されました。ドライビング面とセットアップ面との両面においてリヤタイヤの使い方を修正、改善していき、より丁寧にケアする走り方に切り替えられたのは大きな進歩であり、根本悠生の大きな自信に繋がりました。

#### 【予選】

第5戦のグリッドを決定する予選1回目はアバーテ選手が担当し、彼自身ベストの3番手を獲得しました。第6戦のグリッドを決定する予選2回目は根本悠生が担当。予選1回目で投入したニュータイヤをアバーテ選手が最低限のタイムアタックで根本悠生へとバトンタッチしてくれたため、ライバル達よりも良いタイヤの状態でのタイムアタックに挑めました。気温・路面温度が非常に高くなるなか、しっかりとクーリングラップを間に挟みながら、5周目にポールタイムをマーク出来ました。このコースコンディションに合わせたドライビングが出来たことでとても満足のいく予選セッションとなりました。

#### 【レース1】

アバーテ選手が3番手グリッドからスタートし、1コーナーで行き場を無くして4番手へ後退。さらにステイント後半で5番手へ。これまで以上に接戦のレース展開となり、ドライバー交代時のインラップとアウトラップでのタイムがより重要視されました。アウトラップから全力プッシュで追いつけた根本悠生は、リヤタイヤのヒートアップからオーバーステアを感じながらも、ドライビングでアジャストしながら、ライバル達よりも1秒以上速いラップタイムで猛烈な追いつけを見せました。しかしながら、18周目にアバーテ選手がピットインの時にピットロードの速度違反によるドライブスルーペナルティを科せられてしまいました。根本悠生はペナルティを消化し、7番手へと後退。残り5週の時点で6番手のマシンとは15秒以上の大差がつき、さらに周回遅れのマシンが6台も間にいる状況でした。このような状況においても根本悠生は決して腐ることなく、果敢なドライビングで猛烈な追いつけを見せました。そして最終ラップの最終コーナーのアウト側から見事なパッシングで6位フィニッシュできました。

#### 【レース2】

ポールポジションからのスタートは根本悠生が担当。フォーメーションラップの前半でしっかりとタイヤの内圧を上げ、スタート直後から限界に近いプッシュで後続を引き離していきました。リヤタイヤを温存しながらも速いラップタイムをキープするドライビングに変更。低速コーナーでの半ドリフト状態を極力無くすなど、シルバーストンでのレース時よりもタイヤに優しいドライビングで、タイヤの磨耗によるラップタイムダウンも最小限で安定したペースで周回を重ねていきました。6秒以上のリードを奪って、アバーテ選手へとドライバー交代。しかしながら、マシンをヒットしながら強引にイン側からオーバーテイクを仕掛けられ、マシンの挙動に悪影響が発生。ペースが落ちたところで後続マシンに追突され、スピンを喫し、トップから大きく遅れた4位フィニッシュとなりました。

#### ■根本悠生のコメント

「前回のシルバーストンでのレースを終えてから、レースのオンボード映像をしっかりと検証し、シミュレーターでトレーニングを積んだ結果がしっかりと現れた週末だと思います。自分にとって初めてのサーキットでしたが、ライバル達にとっては非常に馴染みの深いサーキットという、完全にアウェイの状態から始まったレースウィークでした。しかし最終的には、ポールポジション、そしてファステストラップ獲得という、自分の実力をしっかりと発揮できたと思います。残念ながら、表彰台へはあと一步届きませんでした。パートナーのアバーテ選手、そしてチームとデータを見直して、勝つための準備をのスパ・フランコルシャ

ン戦までに整えていきたいと思ひます。今回もたくさんの応援をありがとうございました」

次戦は7月29～30日、ベルギーのスパ・フランコルシャンサーキットにて開催されます。

この件に関するお問い合わせ : VSR Lamborghini Squadra Corse 事務局 [machida.vsr@gmail.com](mailto:machida.vsr@gmail.com)